

moshi moshi

2003 Vol.23

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょう



母乳ばかりで貧血

赤ちゃんでも、「1才を過ぎているのに、母乳しか受けつけない」場合などには貧血が起こることがある。血液検査でヘモグロビン値が10以下と出たら鉄剤を飲む必要がある。また、同時に食事をきちんととらせる努力をしないと鉄不足は解消しない。母乳にしがみついてあまりに食べないときは、母乳をやめることを考えないとならない。少なくとも昼間、すり寄ってきたら親は立ち上がるなどで、絶対授乳拒否の態度をとることが必要。貧血が極度に進むと、子供はだるいから、ゴロゴロしがち。そんなときは再度の血液検査を。



MRSA

MRSAというのは抗生物質が効きにくいブドウ球菌のこと。ブドウ球菌以外でも抗生物質が効かない細菌としてVREやPRSPなどもある。ブドウ球菌自体は人の皮膚の上にもたくさんいる。また抗生物質が効かないブドウ球菌をもっている人もたくさんいる。たまたま検査したら「MRSAが出たといわれたが、どうしたら取り除けるか」などと深刻な相談をもらうが、もっていても本人には何の問題もない。問題なのは手術後の人、重症な人。こういう人がMRSAに感染すると病状が悪化し、治りにくいことがある。



長引く中耳炎につらい思いをしているお母さんが多いようです。毎日の通院にヘトヘトという相談も少なくありません。特に鼻炎、喘息などもあって、そして風邪をひけば長引く中耳炎を繰り返すなどがあると、もう生涯治らないのではないかとめげてしまいがちですが、必ずどこかで治っていくはずです。「もう少しの辛抱」です。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 受付日時 毎週水曜日 14時～17時
(週2回) 毎週金曜日 10時～13時

低身長はメールでも受けつけています

アドレス moshimoshi@pep.ne.jp

ホームページ <http://club.pep.ne.jp/~moshimoshi/>

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院院長）

構成／泉美智子 イラスト・レイアウト／いとうやすこ

繰り返す中耳炎

喘息とアレルギー性鼻炎があって
風邪をひくと中耳炎。
しかも長引き、治ってまた繰り返す

—2才1か月Tちゃんママの電話相談から—

もともと喘息とアレルギー性鼻炎があるのですが、最近では風邪をひくと中耳炎を繰り返すのです。先生はアレルギーママーチについて鼻、耳、気管などの病気を繰り返す子がいるが、これは体質のせい。親のせいなどと深刻にならないでがんばってほしいわね、と励まされています。

先生 主治医のいわれるとおりです。深刻にならずに、いつか治ると信じてがんばってほしいものです。アレルギー性鼻炎があると中耳炎になりやすいのですが、喘息のあるお子さんは免疫の力が弱いのでますます中耳炎を繰り返しやすいです。

が、まだ中耳炎と長いお付き合いになるかもしれません。それは覚悟しているのですが、耳鼻科から出ているネオレスタミンムダイインメイアクトなどの薬を長期に使っているのが気にかかります。特に抗生剤を長期に使うと体によくないのではないかと不安に感じることがあります。

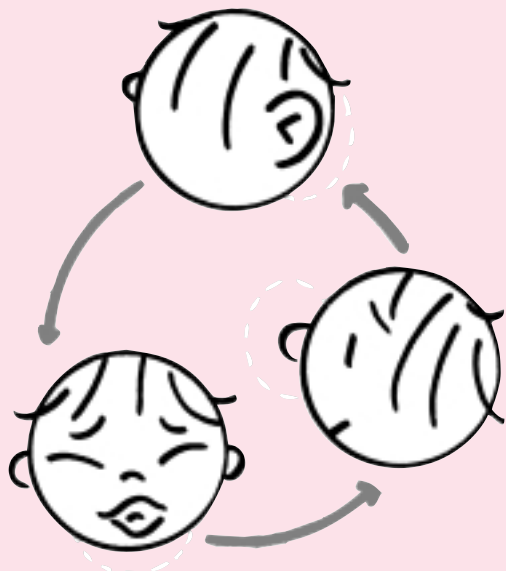
先生 抗生剤も病状によっては必要な場合もありますが、抗生剤をあまり使わないという先生とかなり使われる先生があるのは確かです。これはそれぞれの先生のお考えによるものですから、主治医の小児科医にも薬のことも含めて中耳炎のことも相談されてみるのもいいのではないのでしょうか。

耳の中にたまった水を出すためにチューブを入れるという話を本で読んだのですが、いまのところこの話は耳鼻科医からは出ていないのですが。

先生 チューブは4〜5才で入れることが多いのです。まだ2才でしたね。言葉はごうですか。

普通に出てきていると思います。お兄ちゃんがいるせいか、上の子より早いようです。

先生 言葉が出ていながら耳の聞こえはよいと考え、このまま根気よく治療されていけばよいでしょう。必ずよくありますから、もつしばらく辛抱してくださいね。



発達 発達

低身長

目が合わないのは？

50日の男の子。
目線が合わないのは自閉症？

Q いくら顔を近づけて私が見つめても遠くを見ていて目線が合わないのです。体をそらすのも心配です。いま実家にいるのですが、実家の親たちは「育児書の読みすぎだ」といって取り合ってくれません。

A 確かに目線が合わないのは自閉症の子に多く見られることですが、まだ50日の子にそういう診断を下すことは難しいですね。もしかしたら、お母さんの不安がそういう状態をつくってしまっているのかもしれない。心配するなといっても無理でしょうが、心配のしすぎは子供の発達に影響することもあります。また、この年齢で本当に目線が合わないとしたら、心配するのは自閉症ではなく、視力です。「何かをじっと見ない」ことからお母さんがわが子の視力障害を発見する場合もあります。

多分、何でもないと思いますが、心配であれば、今後このお子さんの発達を保健婦さんとか小児科医にみていってもらいたいでしょう。帰宅されたらまず保健所に連絡をとってみてはどうでしょうか。



9才10か月で127cmの女の子
最近胸が出てきたので心配

Q いまはそれほど低くはないのですが、これで生理がきてしまっ、あと5〜6cmしか伸びなかったら、130cm台で止まりますよね。父親は172cmあるのですが、母親が144cmなので、私に似たのかという不安もあります。いまからでも成長ホルモンの治療はできるもの

A 成長曲線では、-1SDのところをずっと伸びてきています。胸が出てきたということですが、9才10か月で二次性徴がきたから特別早いということでもありません。今後の順序としては、胸が更に大きくなり、陰毛などが生え、そしてそのあとに生理がくるのですが、それまでに通常2年くらいかかります。実はこの間がぐんぐ伸びるのです。骨年齢を調べないとはっきりしたことはいえませんが、最終身長は150cmくらいにはなるのでは？ 150cmあれば低身長ではありません。また、ずっと-1SDですから、成長ホルモン治療の対象にはなりません。この治療をするためには入院検査が必要なのですが、その検査をする対象は少なくとも-2SD以下のお子さんです。

